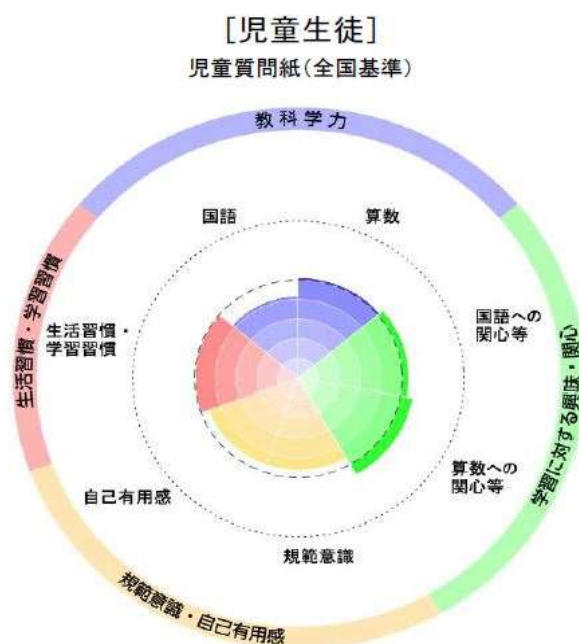


[国語・算数の調査結果より]

平均正答率(%)	横浜市立本牧小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
国語	60	66	67.2
算数	63	63	62.5

[児童質問用紙の回答結果より]



- 国語では、特に情報を整理したり、原因と結果を結び付けたりする力をつけていきたいと考えています。算数では、計算や図形の問題など平均的な正答率となりました。一方で、比例や割合の問題に苦手意識を感じている児童が多くいるようでした。
- 学習全体を通して、考えを表現することに苦手意識を感じている児童が多い傾向でした。また、これまで学習したことを次の学習に活用しきれていないことも分かりました。本校が取り組んでいる「自分の思いや考えをもち、粘り強く取り組む子どもの育成」を今後も推進し、子どもたちが「本気」になって学習や活動に取り組み、学習と学習のつながりを捉えて、主体的で深い学びができる授業づくりを追究していきます。
- 生活・学習習慣については「タブレットなどのICT機器の利用」については、学習で活用できていると答えた児童が多く見られました。一方で、スマートフォンやゲームとの向き合い方に課題を感じている児童が多い傾向が見られました。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」や「学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」の項目で当てはまらないと答えた児童がやや多い傾向が見られました。今後は、自分たちで課題を見付け、多様な考え方を受け入れ、合意形成を図れるような指導を続けていきたいと思っています。

- 「読書は好きですか」という項目については、40%の児童が「当てはまらない。」「どちらかという当てはまらない。」と回答していました。子どもたちの読書習慣については、図書室の利用状況からも、もう少し本に親しむ機会を確保したいと考えています。そのために、国語では、学習に関連する図書をすすめたり、図書週間の取組などを活用したりして本を読むことへの意欲を高めていければと考えています。

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいですか」という項目では、80%近くの児童が「当てはまる。」「どちらかと言えば当てはまる。」と回答しています。一方で、「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の項目では、約半数の児童が「当てはまらない。」「どちらかと言えば当てはまらない。」と回答していました。今年度は、夏休み前に地域行事の紹介を学校から発信しました。また、地域の方のお力をお借りして学習に取り組む活動も進めてきました。地域と学校をつなげて、子どもたちの地域への関心を高めていければと考えています。